

ビナミルク(VNM)



《企業紹介》

同社はベトナム最大の乳業製品のメーカーである。ベトナム全土に 13 の工場と 13 の乳業飼育用の牧場を展開しているほか、海外にも 2 つの生産拠点（北米とカンボジア）を保有し、牛乳、ヨーグルト、練乳、育児用ミルク、チーズなどの様々な乳製品を生産している。品質や製品価値において国内消費者の高い支持を得ており、ベトナム国内では「ビナミルク」として高いブランド力を誇っている。

《2026 年 4—6 月期業績》

2026 年 4—6 月期の売上高は前年同期比 12.5%増の 18.8 兆 VND（ベトナムドン）だった。引き続き情報技術を駆使した自社の販売・配達ネットワークの強化、ベトナムの個人消費好調に支えられたコア製品の好調、所得水準向上に伴うベトナムの消費の高度化に牽引されている高付加価値製品の販売増によって国内売上高が同 6.5%増の 14.5 兆 VND と伸びた。一方、海外売上高は同 39.2%増の 4.3 兆 VND と大きく伸び、売上高全体の増加を牽引した。中東向け輸出が、引き続き商品開発のローカル化が奏功していること、代替ルートの確保によって商品供給が支障なく行われたことなどによって好調を維持したことが貢献した。このほか、カンボジアやフィリピンなどの販売が好調だったこともプラスとなった模様だ。

原材料高などやサプライチェーンの混乱といったマイナス要因があったが、そのマイナスを、生産や販売の効率化、商品の高付加価値化などによって吸収できたため、粗利益率は同 1.7%ポイント上昇の 43.5%となり、粗利益は同 17.1%増の 8.2 兆 VND となった。金融収支の受取超過額は前年同期並みだったものの、販売費が同 10.6%増の 4.1 兆 VND、一般管理費が同 12.6%増の 5,206 億 VND と粗利益の増加ペースを下回るペースに抑制されたため、営業利益は同 26.0%増の 3.9 兆 VND となった。税前利益は同 25.9%増の 3.8 兆 VND、純利益は同 28.0%増の 3.1 兆 VND となった。売上高の増加と共に収益力の強化も進んでいることが見て取れる決算内容だったと評価できるだろう。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	16,748.4	0.6	16,953.2	9.1	17,033.6	10.1	16,148.7	24.8	18,847.3	12.5
粗利益	7,004.8	-0.9	7,087.3	10.7	6,890.0	11.0	6,895.9	32.3	8,204.1	17.1
(粗利益率、%、%ポイント)	41.8	-0.6	41.8	0.6	40.4	0.3	42.7	2.4	43.5	1.7
営業費用(金融収支を含む)	3,903.1	4.3	3,929.5	14.5	3,457.1	-4.7	3,904.1	19.8	4,295.1	10.0
金融収支(マイナスは受取超過)	-266.8	-	-304.5	-	-250.8	-	-231.9	-	-278.9	-
販売費	3,711.3	3.8	3,573.8	7.1	3,186.8	-4.9	3,724.7	17.5	4,104.0	10.6
一般管理費	462.3	1.4	465.8	10.4	545.1	-1.7	459.8	6.7	520.6	12.6
営業利益	3,101.7	-6.7	3,157.8	6.3	3,432.9	33.0	2,991.8	53.4	3,909.0	26.0
税前利益	3,096.1	-6.4	3,125.6	6.2	3,477.0	31.5	3,014.4	54.5	3,899.2	25.9
純利益	2,474.6	-7.3	2,526.8	5.1	2,840.4	33.7	2,428.7	54.8	3,167.0	28.0

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260805

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ビナミルク(VNM)

《株価の推移》

同社の株価と VN 指数の 2025 年終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価は、2026 年の年初から 2 月まで VN 指数をアウトパフォーム、3 月から 7 月中旬まではアンダーパフォームとなっていたが、4-6 月期決算発表前後からキャッチアップの動きを明確にしている。8 月 4 日時点で VN 指数は 2025 年末比 0.4% の下落となっているのに対し、同社は 2.8% の下落となっている。また、8 月 4 日終値 59,500VND で計算した同社の時価総額は 124.3 兆 VND で、これは 2025 年 12 月期の純利益実績 9.4 兆 VND の 13.2 倍となっている。

図表2 株価推移



ベトナムの個人消費は堅調であるうえ、所得水準の向上による「ワンランク上の消費」も勢いづいている。4-6 月期決算では、構造改革や商品開発戦略の成功により、このようなベトナムの消費トレンドを着実に取り込み、業績拡大に結び付けていることが示された。海外の成功も併せて考慮すると、一層の業績拡大が期待でき、株価パフォーマンスの改善が期待できる決算内容だったといえよう。一方、国内売上高の前年同期比増減率が 1-3 月期の 20.4% 増から 4-6 月期の 6.5% に減速したことについて、海外ブランドとの競合激化や国内サプライチェーン改革効果の一巡といったリスクが考えられる。この点については、7-9 月期以降の決算で確認する必要があるだろう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260805

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。